



ものづくりの まち旭川

職人技が光る旭川家具

長い年月をかけ育った木材を丹精込めて家具に仕立てる職人たち。たくさんの熟練の手が、美しく使いやすい旭川家具を生み出しています。



全国有数の家具産地として

「旭川家具」は、市内と近郊にあるメーカーが手掛ける家具のブランドです。高いデザイン性と優れた機能性を持ち、長年にわたって使うことができるのが特徴です。市内の家具メーカーの中には、建具メーカーと連携して新製品を開発したり、アメリカやドイツなどに進出したりと、幅広く活動している企業も少なくありません。また、家具メーカー42社で構成する旭川家具工業協同組合では、広葉樹の植樹を行い、家具作りの素材となる木を育てることに力を入れています。

市内では、毎年「ものづくりのまち・旭川」の魅力を発信する催し「ASAHIKAWA DESIGN WEEK」が開催されている他、3年ごとに、家具の祭典「国際家具デザインフェア旭川（IFDA）」も開かれています。





田根さんの展示作品



田根 剛さんは、北海道東海大学旭川キャンパスの卒業生

パリを拠点に活動している建築家の田根 剛さんが、6月に旭川で開かれた講演会で旭川家具について話しました。「旭川には製材技術があり、作り手も売り手も揃っていて職人を育てる文化もあります。これほどのづくりの環境が整っている地域は、世界でも珍しいです。メーカー同士の強い連携も他にはない、旭川の魅力だと思います」。

世界で活躍する建築家から

7) 【詳細】工芸センター（番66・1770）、産業振興課（番65・704）



安藤哲平さんは、家具メーカー「ガーヂーカムワークス」所属



金賞受賞作品

10月に開かれた技能五輪全国大会の家具職種で、金賞を獲得した安藤哲平さんに話を聞きました。「大会前に旭川高等技術専門学院で練習を積み、本番でそのとおりにできたことが受賞につながったと思います。旭川は若い職人への理解があり、支援も充実しています。さらに腕を磨いて、自信を持って仕事ができる職人になりたいです」。

技能五輪優勝の若き職人から